

学習シラバス (数学) 科

科目名	単位数	学年・類型
数学 I ・数学 A	3 ・ 2	第 1 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 数と式、集合、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質について理解を深めます。</p> <p>2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てます。</p>
---------	--

2 学習計画等

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	数学 I 1章 数と式 1 式の計算 2 実数 3 1次不等式	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにします。また、式を多面的に見たり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにします。
	数学 I 2章 集合と命題	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにします。
	数学 I 3章 2次関数 1 2次関数とグラフ 2 2次方程式と2次不等式	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにします。
	数学 I 4章 図形と計量 1 三角比 2 三角形への応用	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにします。
2 学 期	数学 A 1章 場合の数と確率 1 場合の数 2 確率	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。
	数学 I 5章 データの分析	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにします。
	数学 A 2章 図形の性質 1 平面図形 2 空間図形	平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。
3 学 期	数学 A 3章 数学と人間の活動	整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにします。
	数学 I ・数学 A の問題演習	数学 I 及び数学 A で学んだ内容を復習し定着を図るとともに、応用問題を解けるようにします。

3 評価の観点及び内容、評価方法

評 価 の 観 点 及 び 内 容	評 価 方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 授業中の活動への取組 ・ 確認テスト ・ ルーブリック評価
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 課題等における論理的な解答の作成 ・ 発表の内容 ・ ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に取り組む態度 ・ ノート等における記述 ・ 授業中の発言 ・ ルーブリック評価